

STAGE+を楽しむ(179)(HP 収載)
—トリフォノフのザルツブルク音楽祭 2023 年—

1. 始めに

前報(178)に引き続き、STAGE+のトリフォノフのザルツブルク音楽祭 2023 年の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はトリフォノフのザルツブルク音楽祭 2023 年の演奏を選びました。

トリフォノフがチャイコフスキーにモーツァルトなど意欲的プログラムを演奏
ザルツブルク音楽祭 2023

収録日: 2023 年 8 月 12 日

いま世界で最も注目されているピアニストの一人であるダニール・トリフォノフ。圧倒的な技術と繊細な音、そして表現の深さが魅力ですが、プログラミングでも彼ならではの感性で魅せてくれます。2023 年のザルツブルク音楽祭では、チャイコフスキーの《子供のためのアルバム》をはじめ、シューマンとモーツァルトの幻想曲、そしてスクリャービンのソナタ第 5 番を披露します。技術と感性を試される作品で、改めてトリフォノフの魅力を味わって頂けることでしょう。

ソリスト:

ダニール・トリフォノフ (ピアノ)

曲目:

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 《子供のアルバム》 op. 39

ロベルト・シューマン 幻想曲ハ長調 op. 17

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 幻想曲ハ短調 K. 475

アレクサンドル・スクリャービン ピアノ・ソナタ第 5 番嬰へ長調 op. 53



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

チャイコフスキーの《子供のアルバム》は、子供の情景を描いたような曲で、トリフォノフが慈しむかのように愛らしく弾いていきます。

シューマンの幻想曲ハ長調は、幻想曲というだけに自由闊達に描いていきます。

モーツァルトの幻想曲ハ短調は、お馴染みの曲ですが、古典派のモーツァルトという枠を超えたような奔放な演奏です。

スクリャービンのピアノ・ソナタ第5番は、ピアノッシモからフォルテッシモまでのダイナミックレンジの大きな、トリフォノフの華麗で鋭角的な打鍵が発揮されます。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、5つの表情の異なる曲を巧みに描き分けていることが分かりました。

以上